

札幌市立高等学校との連携事業 「看護職・リハビリ職体験学習プログラム」実施

1月6日(金)、札幌市立高校(札幌旭丘高等学校、札幌開成中等教育学校、札幌清田高等学校、札幌啓北商業高等学校、札幌新川高等学校、札幌平岸高等学校、札幌藻岩高等学校、市立札幌大通高等学校)の学生62名が本学を訪問しました。

昨年に引き続き、5度目となるこの大学訪問は、大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する相互支援を目的として行われたプログラムです。看護師、理学療法士、作業療法士と3分野に分かれ、午前中は模擬講義を、午後からは体験実習を行いました。

高校の授業とは違い、職業についての体験など大学ならではの講義に積極的に参加する姿が見受けられました。今回の体験学習プログラムの経験を元に将来の進路選択・決定の助力となれば幸いです。



札幌開成中等教育学校特別講義 「プレ先端科学特論」「先端科学特論」を実施

1月10日(火)と11日(水)の2日間にわたり、札幌開成中等教育学校4年生52名を対象に「プレ先端科学特論」を、11日(水)には5年生13名を対象に「先端科学特論」を実施しました。

「プレ先端科学特論」は、「自分の遺伝子を解析してみよう」というテーマのもと、1日目、本学個性健康科学研究所 太田亨教授と岩手医科大学医学部臨床遺伝学科 徳富智明准教授による遺伝子解析に関する基礎知識の講義と口腔細胞からDNAを抽出する実験が行われました。2日目には、浅香学長による講演終了後、2班に分かれて太田亨教授による玉ねぎからDNAを抽出する実験と徳富智明准教授によるf-tree(家系図作成ソフト)を使用して家系図を作成する講義が行われました。

また、「先端科学特論」は「プレ先端科学特論」参加の生徒とともに学長講演終了後、個性健康科学研究所 高井理衣助教によるアミラーゼ遺伝子のコピー数多型を解析する実験が行われました。

「プレ先端科学特論」「先端科学特論」どちらに参加した生徒も大学ならではの体験や講義を体験することができ、知識と関心を深める有意義な時間を過ごしたようでした。



札幌北高等学校インターンシップの実施

1月6日(金)、札幌北高等学校1年生10名が札幌あいの里キャンパスの大学病院を訪れ、インターンシップを実施しました。薬剤部、看護部、医療心理室の3グループに分かれ、それぞれの業務における役割の学習や薬剤師・看護師・臨床心理士の体験、施設見学等を行いました。

本学病院におけるインターンシップの経験は、生徒の進路意識や医療関連分野への関心を高め、勤労観ならびに職業観の醸成に役立つものと思われま

